

令和
6年度

酒々井の町づくり

決算の説明

主な事業内容を説明します

人 自然 歴史 文化 が調和した

活力あふれるまち 酒々井

目 次

事業別概要

議会事務局	1
総務課	1
くらし安全協働課	3
税務住民課	6
企画財政課	7
会計室	10
健康福祉課	10
こども課	21
文化観光課	26
経済環境課	27
農業委員会事務局	31
まちづくり課	31
上下水道課	35
学校教育課(給食センター含む)	36
生涯学習課(中央公民館・プリミエール酒々井含む)	40

特別会計

国民健康保険特別会計(健康福祉課)	45
介護保険特別会計(健康福祉課)	45
後期高齢者医療特別会計(健康福祉課)	46

7つの基本目標ごとに取り組んでいきます。

- 目標① 誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり（健康・福祉・子育て）
- 目標② 人権と学びが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり（教育・文化）
- 目標③ 豊かな日常を守る、安全安心なまちづくり（生活安全）
- 目標④ 自然と共存し、環境に負荷をかけないまちづくり（環境共生）
- 目標⑤ 便利で快適な、歩いて暮らせるまちづくり（都市基盤）
- 目標⑥ 活力と魅力にあふれ、にぎわいのあるまちづくり（産業・経済）
- 目標⑦ 多様な主体との連携により、地域の力で紡ぎだすまちづくり（地域生活・行財政）

予算事業別概要の標記について

◆事業名(款項目事業番号) R6 年度決算額(R6 年度当初予算額)

【財源内訳】※特定財源がある場合には、その歳入名称及び額。

・財源内訳は、国県支出金、地方債、その他特財(使用料・手数料、分担金、負担金、寄附金、繰入金、諸収入等)です。

・一般財源とは、「〇〇〇事業」に係る財源内訳のうち、皆様から納められる税金や地方交付税等です。

【事業概要】の記載項目は、主なものであり、合計と決算額は一致しない。

(決算額等は、千円単位の数字)※千円未満四捨五入

■議会事務局

◆議員報酬（1-1-1-2） 87,255（87,257）

【一般財源：87,255】

【事業概要】目標⑦

町議会議員報酬に要する経費等です。

- ・議員報酬 52,620 ・期末手当 19,206
- ・議員共済会負担金 15,429 地方議会議員年金制度廃止後の既受給者に対する公費負担

◆議会運営事業（1-1-1-3） 6,731（6,936）

【一般財源：6,731】

【事業概要】目標⑦

より開かれた議会を実現するため、議会だよりの内容を充実させるとともに、正確な記録の管理、正確な情報伝達を図り、インターネット上に会議録や本会議の中継動画を公開することにより、議会を傍聴できない方にも配慮した情報公開に努めました。

- ・議会だよりの作成事業 1,368 町民に議会活動を周知しました。（年4回）
- ・会議録作成事業 1,296 議会定例会・臨時会ごとに会議録を作成し、ホームページで公開しました。
- ・議会中継事業 1,514 インターネットによる議会中継を配信しました。
- ・議場設備整備事業 768 議場放送設備等の保守を行いました。

■総務課

◆総務一般事務費（2-1-1-1） 27,346（30,613）

【その他特財：2,196 一般財源：25,150】

【事業概要】目標⑦

総務一般事務費は、人事管理に要する経費、職員の福利厚生及び衛生管理に要する経費、職員研修に要する経費、秘書事務に要する経費、自治功労者表彰に要する経費等です。

- ・人事給与 2,056 ・会計年度任用職員 594 ・勤休管理 963 各システム賃借及びシステム改修費、職員の人事記録及び給与、会計年度任用職員の管理、職員の勤怠管理に関するシステムの賃借料等です。
- ・職員研修委託業務 2,084、職員参加負担金 934 職員の能力及び資質向上を図るため、庁内での研修の実施及び各種研修施設での研修に職員を派遣しました。
- ・町表彰関係費 397 文化の日に町自治功労者等の表彰を行いました。このほか、パリオリンピック・パラリンピックで優秀な成績を収めた町内在住の選手にスポーツ特別表彰を贈呈しました。



◆文書管理事業（2-1-2-7） 296（385）

【一般財源：296】

【事業概要】目標⑦

本庁及び出先機関からの郵便、郵送料です。



◆法規関係事業 (2-1-2-8) 3,717 (3,718)

【一般財源：3,717】

【事業概要】目標⑦

町例規システムの運用に要する経費、個人情報取扱業務システムに要する経費、法令図書の追録及び購入を行いました。

◆情報化推進事業 (2-1-7-1) 46,197 (46,769)

【その他特財：625 一般財源：45,572】

【事業概要】目標⑦

自治体 DX (デジタルトランスフォーメーション) を推進し、高度情報化社会に対応した効率的な行政と住民サービスの向上を図るため、必要なハードウェアやソフトウェアの運用及び維持管理を行いました。また、町ホームページを積極的に活用して町内外に広く行政情報を発信できるようシステムの運用・管理を行いました。

◆選挙管理委員会運営事業 (2-4-1-1) 2,043 (2,078)

【一般財源：2,043】

【事業概要】目標⑦

適正な執行体制を構築するための委員会を年4回開催しました。また、システムによる選挙人名簿の管理及び運用を行いました。

◆千葉県知事選挙事業 (2-4-9-1) 5,158 (6,384)

【国県支出金：5,158】

【事業概要】目標⑦

千葉県知事選挙の執行に要した経費です。

◆衆議院議員選挙事業 (2-4-3-1) 4,636 (0)

【国県支出金：4,636】

【事業概要】目標⑦

衆議院議員選挙の執行に要した経費です。

◆監査運営事業 (2-6-1-1) 692 (692)

【一般財源：692】

【事業概要】目標⑦

町の財務事務や経営に係る事業の管理等が法令に従って適切に行われているか等を確認するため、出納検査及び監査を実施しました。

■ くらし安全協働課

◆ 防犯事業 (2-1-1-4) 2,123 (2,524)

【国県支出金：111 一般財源：2,012】

【事業概要】 目標③

自治会や防犯ボランティア団体による防犯パトロールなどの活動拠点である駅前交流センターの運営管理を行い、安全で安心なまちづくりの推進を図るため、自治会等に対して防犯カメラの設置費の一部を補助しました。また、自主防犯意識の高揚を図るために、「防犯・交通出前講座」を実施しました。

◆ 防犯ボックス事業 (2-1-1-11) 12,381 (12,526)

【国県支出金：3,000 その他特財：63 一般財源：9,318】

【事業概要】 目標③

警察官OBを配置した防犯ボックスを運営し、自治会及び防犯ボランティア団体との合同防犯パトロールや見守り、街頭監視活動等を実施し、地域防犯力の向上と女性や子どもをはじめ、住民が安心して暮らせる地域づくりの推進を図りました。

◆ 交通安全推進啓発事業 (2-1-8-1) 628 (410)

【国県支出金：109 一般財源：519】

【事業概要】 目標③

警察や交通安全団体と連携し、交通安全教室の開催や全国交通安全運動に合わせた交通啓発キャンペーン等を実施しました。また、町民の自転車乗車用ヘルメットの着用促進を図るため、ヘルメット購入費の一部を補助しました。

◆ 防災一般事務費 (2-1-9-1) 6,172 (6,141)

【一般財源：6,172】

【事業概要】 目標③

感染症対策を講じた避難所運営や防災体制の確立のため防災訓練の実施及び必要な資機材、備蓄品を整備したほか、町民及び自主防災組織に対する自助・共助の推進を図るため、「ぼうさい出前講座」を実施しました。

◆ 防災行政無線管理整備事業 (2-1-9-2) 16,107 (5,654)

【地方債：10,300 一般財源：5,807】

【事業概要】 目標③

防災行政無線設備の正常な機能を維持し、故障等の発生を未然に防止することを目的に保守点検業務を行うとともに、メール機能を利用して防災情報等を配信しました。

また、令和5年度から繰越した千葉県防災行政無線再整備工事を実施しました。

◆自治振興事業（2-7-1-1） 7,100（7,159）

【一般財源：7,100】

【事業概要】目標⑦

区・自治会など住民自治の振興を図るとともに、行政の円滑な運営と町民福祉の増進を図るために助成金を交付しました。

- ・自治振興助成金 5,746（5,851）

◆住民協働一般事務費（3-1-7-1） 1,155（321）

【その他特財：93 一般財源：1,062】

【事業概要】目標⑦

住民協働事務に係る経費として、男女共同参画講演会の講師謝礼、老朽化したコミュニティ備品の更新等を行いました。

◆生きがい創造支援事業（3-1-7-5） 1,480（1,480）

【一般財源：1,480】

【事業概要】目標①

高齢者の生きがい支援として、豊かな経験と能力を積極的に活かすための就業を援助し、健康増進に資するシルバー人材センターの機能充実に向けて支援を行いました。

- ・シルバー人材センター補助金 1,400（1,400）



◆住民公益活動補助事業（3-1-7-6） 56（735）

【一般財源：56】

【事業概要】目標⑦

住民が行う自発的な公益活動の支援を行いました。



◆公園等愛護活動推進事業（3-1-7-7） 2,051（2,268）

【一般財源：2,051】

【事業概要】目標⑦

町が管理する都市公園等について地域住民が主体となって実施する環境美化活動及び施設の保全維持管理活動の支援を行いました。また、花植を行う団体に、年2回以内で花苗を支給する「花いっぱい運動」を行いました。

- ・公園等愛護活動推進事業 1,536（1,585）
- ・花いっぱい運動 415（450）

◆資材等支給事業（3-1-7-8） 219（860）

【一般財源：219】

【事業概要】目標⑦

地域住民等が自ら施工する生活環境の整備工事等について、住み良い住環境整備の推進及び地域住民等の連携を図るため、必要な資材等を支給しました。

◆地区集会所等補助事業（3-1-7-9） 14,509（12,070）

【その他特財：2,500 一般財源：12,009】

【事業概要】目標⑦

地域住民の自治活動の場としての集会所等の維持・管理等に要する経費に対して補助金を交付し、地域コミュニティ活動の推進を図りました。また、中川自治会館は、昭和40年に建築され50年以上が経過し、施設の老朽化が著しいことから地域住民の総意により建て替えが行われ、建設経費及びコミュニティ活動備品購入の一部を補助しました。

- ・地区集会所等管理費補助金 870（870） ・地区集会所等修繕費及び増改築費補助金 1,139（1,200）
- ・コミュニティ施設整備事業補助金 10,000（10,000） ・コミュニティ助成事業補助金 2,500（2,500）

◆酒々井の里山林協働再生事業（3-1-7-10） 61（203）

【一般財源：61】

【事業概要】目標⑦

環境保全や景観形成、町内の山林等から排出される樹木・竹等の有効利用を目的に町内の環境保全団体等に貸し出すため、町で所有している樹木粉碎機の維持管理を行いました。

◆地理情報システム整備事業（3-1-7-14） 2,057（2,068）

【一般財源：2,057】

【事業概要】目標⑦

町と住民等の行政情報及び地域情報を共有できるGIS（地理情報システム）は、ライセンス使用契約の終了に伴い事業を休止したことによるデータのバックアップの業務等を実施しました。

◆地域活動拠点施設運営事業（3-1-7-16） 202（265）

【一般財源：202】

【事業概要】目標⑦

住民によるまちづくりを推進するため、下宿ベース（地域活動拠点施設）の管理運営を行いました。

◆公共活動広場用地管理事業（3-1-7-17） 689（1,345）

【一般財源：689】

【事業概要】目標⑦

住民が利用できる広場として整備予定の土地の維持管理を行いました。

- ・除草業務 495（869） ・樹木伐採業務 0（270）

◆佐倉市八街市酒々井町消防組合負担金（8-1-1-1） 520,875（520,897）

【一般財源：520,875】

【事業概要】目標③

消防組合の運営に係る負担金を納入しました。

（構成市町：佐倉市、八街市、酒々井町）



◆非常備消防一般事務費（8-1-2-1） 4,173（4,184）

【一般財源：4,173】

【事業概要】目標③

消防関係団体に対する負担金等を交付しました。

◆消防団事業（8-1-2-2） 8,851（12,260）

【一般財源：8,851】

【事業概要】目標③

地域の安全確保に大きな役割を果たしている消防団員の資質・消防技術の向上を図るため、消防操
法訓練をはじめ各種訓練を実施しました。また、地域防災の中核を担う消防団員の確保、育成に努め
ました。

◆消防施設事業（8-1-2-3） 1,961（21,567）

【一般財源：1,961】

【事業概要】目標③

消防団装備品や消防機庫、消防車、防火水利等の維持管理を行いました。

※消防小型ポンプ積載車購入事業（19,224）令和6年度中の納車（2台）が困難となり繰越を
行いました。

◆水防事業（8-1-3-1） 623（625）

【一般財源：623】

【事業概要】目標③

水防関係団体に対する負担金を交付しました。

■税務住民課

◆税務一般事務費（2-2-1-1） 728（909）

【その他特財：32 一般財源：696】

【事業概要】目標⑦

町税は、住みよいまちづくりのための財源として重要な役割を果たしています。当事業では、町税
の適正な賦課と公正な徴収を行うための経費の内、税務全般にかかる諸経費を計上しています。

◆賦課徴収事業（2-2-2-1） 65,284（71,840）

【国県支出金：34,665 その他特財：6,833 一般財源：23,786】

【事業概要】目標⑦

住みよいまちづくりのために大きな役割を担っているのが町税の賦課徴収事業です。これは、各種
課税客体の調査等による正確で適正な課税と、滞納処分等による公平で公正な税負担を目指して行わ
れているものです。また、納税しやすい環境を充実するために令和5年度からは、地方税統一QRコ
ードの活用やスマホ収納サービスの充実を図っています。

- ・会計年度任用職員報酬 3,926
- ・町税賦課徴収電算業務 13,943
- ・固定資産税土地評価業務 14,032
- ・基幹系システム使用料 9,562

◆戸籍住民基本台帳一般事務費 (2-3-1-1) 59,112 (55,140)

【国県支出金：16,814 その他特財：9,161 一般財源 33,137】

【事業概要】目標⑦

親族的身分関係を登録・公証する「戸籍」の適正な処理と、住民の居住関係の公証や各種行政サービスの基礎となる「住民基本台帳」の正確な管理を行いました。

また、国が推進するマイナンバーカードの交付・更新事務と県民の利便性に配慮した旅券事務を適切に処理しました。

- *戸籍届出件数 774件
- *転入届件数 1,532件
- *転出届件数 1,370件
- *証明書発行件数 (戸籍 5,482件 住民票 11,045件 印鑑証明書 5,265件)
- *マイナンバーカード交付件数 1,725件
- *パスポート交付数 457件

企画財政課

◆広報広聴事業 (2-1-2-2) 4,857 (5,982)

【その他特財：550 一般財源：4,307】

【事業概要】目標⑦

町民がまちづくりに自主的に参加しやすいものとなるよう、行政情報の積極的な提供を通じて、町民と町との情報の共有と相互理解を深め、町民参加のまちづくりを進めるため、正確かつタイムリーな行政情報や町民参加の各種イベントなどを掲載した「広報ニューしすい」を毎月1回発行しました。

また、各種イベントや耳より情報、防災など町の旬な情報を発信していくことを目的に「町公式X」、「町公式LINE」及び「JR酒々井駅西口デジタルサイネージ」を活用しながら情報提供の充実を図りました。



◆財務一般事務費 (2-1-3-1) 151,426 (14,367)

【その他特財：145,209 一般財源：6,217】

【事業概要】目標⑦

予算の編成、地方交付税、地方債等の町の財政全般の事務を行いました。

- ・財務会計システム使用料及び賃借料 3,370

◆管財一般事務費 (2-1-3-4) 9,894 (9,872)

【その他特財：16 一般財源：9,878】

【事業概要】目標⑦

町有バスの運行について運転手の雇用に関する経費や庁舎内で使用する共通事務用品等の購入及び事務機器等の管理並びに電子入札システムを千葉県と県内各市町村の共同で運営しました。

- ・町有バス運行事業 3,166

- ・電子入札システムを千葉県と県内各市町村の共同で運営（ちば電子調達システム使用料 1,703）

◆施設管理一般事務費（2-1-3-5） 2,909（3,055）

【その他特財：16 一般財源：2,893】

【事業概要】目標⑦

ファシリティマネジメントに精通したファシリティマネジャーを採用し、公共施設マネジメントを進めました。

- ・会計年度任用職員 2,909

◆町有財産管理事業（2-1-5-1） 2,678（2,815）

【その他特財：491 一般財源：2,187】

【事業概要】目標⑦

普通財産用地の維持管理、町有建物災害共済保険への加入を行いました。

- ・町有建物災害共済保険料 2,439 ・町有地管理業務 240

◆庁舎管理事業（管財）（2-1-5-2） 23,219（24,813）

【その他特財：181 一般財源：23,038】

【事業概要】目標⑦

役場庁舎及び付帯施設の維持管理のための修繕や各種設備保守・点検、夜間警備、清掃業務等の委託及び光熱水費や電話料等の支払いを行いました。

- ・光熱水費 9,821（電気代、ガス代、上下水道料金、暖房用灯油代）
- ・修繕料 1,593（備品修繕、施設修繕、中央庁舎玄関外側自動ドア装置交換）
- ・清掃業務 3,676

◆庁舎管理事業（施設管理）（2-1-5-3） 2,128（1,347）

【一般財源：2,128】

【事業概要】目標⑦

役場庁舎の機能の維持・管理を行いました。

- ・法令で定められた役場庁舎のフロンガス漏洩点検 136
- ・役場西庁舎の空調設備更新工事（こども課内及び教育長室） 1,993

◆自動車管理事業（2-1-5-4） 12,491（7,699）

【国県支出金：14 一般財源：12,477】

【事業概要】目標⑦

公用車及び町有バスの車検整備・法定点検、修理等の維持管理と燃料費の支払い並びに自動車共済保険等の損害保険に加入するとともに運行管理と安全運転の確保に努めました。

- ・自動車整備費 2,328（車検 22 台、法定点検他） ・自動車燃料費 2,723（ガソリン等）
- ・自賠責保険 340（車検 22 台＋ホイールローダー1 台）、自動車損害保険料 1,149（40 台）
- ・町有バス賃借料 237 ・自動車重量税（車検 22 台） 420 ・庁用車購入（ダンプ） 4,904

◆企画一般事務費(2-1-6-1) 37,361(35,494)

【その他特財：28,226 一般財源：9,135】

【事業概要】目標⑦



第6次酒々井町総合計画で掲げた目標の実現を図るため、前期基本計画に基づく各施策の効果的な推進を図るとともに町の施策や魅力等を町内外に広く情報を発信し、交流・関係人口増加や定住促進を図りました。

- ・印旛郡市広域市町村圏事務組合の管理運営等に係る負担金 7,479
構成市町：成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、栄町、酒々井町
- ・ふるさと納税事業 6,066 返礼品のPR・発送を行うとともに、新規開拓等を行いました。
- ・ふるさと基金積立 22,004 ふるさと納税寄附金について、将来の活用に備え基金に積み立てました。
- ・町制施行 135周年記念事業 935 式典の開催や住民提案事業への補助金交付等を行いました。

◆統計調査一般事務費(2-5-1-1) 16(16)

【国県支出金：13 一般財源：3】

【事業概要】目標⑦

- ・統計調査員確保対策事業 13 統計調査員募集のリーフレット等を活用し、新規登録者数の増加を図りました。
- ・千葉県統計協会負担金 3 統計思想の普及を図るとともに、統計事務の改善に寄与することを目的とする事業です。

◆各種統計調査事業(2-5-2-1) 663(840)

【国県支出金：663】

【事業概要】目標⑦

- ・千葉県毎月常人口調査(毎月) ・千葉県年齢別・町丁字別人口調査(令和6年4月1日)
- ・学校基本調査(令和6年5月1日) ・経済センサス調査区管理(令和6年6月1日)
- ・2025年国勢調査調査区設定(令和6年10月1日)
- ・2025年農林業センサス(令和7年2月1日) ※ ()内は、調査期日

◆印旛広域水道事業(4-2-1-1) 11,065(11,947)

【地方債：10,700 一般財源：365】

【事業概要】目標⑦

印旛郡市広域市町村圏事務組合が構成市町への水道用水の安定供給、効率的な事業運営を行うための経費に係る負担金及び出資金

- ・出資金 11,015 ・負担金 50

■会計室

◆会計一般事務費（2-1-4-1） 1,985（2,055）

【国県支出金：243 その他特財：37 一般財源：1,705】

【事業概要】目標⑦

公金・有価証券等の出納と保管、現金・財産の記録と管理及び決算の調製を行いました。

■健康福祉課

◆社会福祉一般事務費（3-1-1-1） 68,431（70,165）

【その他特財：22 一般財源：68,409】

【事業概要】目標①

- ふれ愛タクシー運行事業 33,041 高齢者などの日常生活の向上を図るため、ふれ愛タクシーを運行しました。

利用料（利用券事前購入）：町内（さくら斎場含む）1回につき300円、町外（成田赤十字病院、日本医科大学千葉北総病院のみ）1回につき500円

利用時間：午前8時から午後5時

- 社会福祉事業委託業務 5,595
- 福祉団体助成事業 25,826 福祉団体の活動を支援するため助成しました。
酒々井町社会福祉協議会事業補助金 25,176、蛸雪学園運営補助金 500、更生保護女性会補助金 50、酒々井町遺族会補助金 100
- 町戦没者追悼式実行委員会補助金 300 先の大戦において亡くなられた方々を追悼し平和を祈念するため、戦没者追悼式を実施しました。



◆民生委員児童委員活動事業（3-1-1-2） 1,341（1,348）

【国県支出金：238 一般財源：1,103】

【事業概要】目標①

町民の心配ごとなどを解決するために、専門機関の紹介や行政とのパイプ役として、子どもから高齢者までの相談役となっている民生委員児童委員の活動を支援しました。

- 酒々井町民生委員児童委員協議会補助金 304

◆障害者福祉事業（3-1-1-6） 48,618（46,148）

【国県支出金：17,326 その他特財：256 一般財源：31,036】

【事業概要】目標①

- 重度心身障害者医療費助成事業 28,427 重度の障がい者の経済的負担の軽減を図るため、医療費の自己負担分の一部を助成しました。対象者は1級又は2級の身体障害者手帳所持者、Aの2以上の療育手帳所持者、1級の精神保健福祉手帳所持者（一定所得以上の方は対象外）。ただし、65歳以上で新たに助成対象の障害者手帳が交付された者を除きました。
- 福祉タクシー事業 438 重度の身体障がい者、知的障がい者がタクシーを利用する場合、1,000円を

上限に料金の1/2を助成しました。対象者は1級又は2級の身体障害者手帳所持者（下肢、体幹、視覚障害者は3級も対象）、Aの2以上の療育手帳保持者とし、助成内容は割引券を年間30枚（透析患者は60枚）を交付しました。

- ・ねたきり身体障害者・重度知的障害者福祉手当支給事業 1,176 ねたきりの身体障がい者や重度の知的障がい者に福祉手当を月額8,650円支給しました。対象者は6か月以上ねたきり状態の20歳以上65歳未満の身体障がい者や在宅で常時介護を必要とする20歳以上で、療育手帳Aの2以上の知的障がい者（ただし、障害児福祉手当・特別障害者手当等の受給者は除く）です。
- ・指定難病見舞金支給事業 4,920 指定難病の方に見舞金を月額3,000円支給しました。
- ・紙おむつ支給事業 1,543 身体障害者手帳や療育手帳をお持ちの方に、1月あたり3,000円分の助成券を交付しました。
- ・福祉団体助成事業 400 福祉団体の活動を支援するため助成しました。酒々井町手をつなぐ親の会補助金 400



◆障害者総合支援事業（3-1-1-7） 513,443（417,149）

【国県支出金：380,104 一般財源：133,339】

【事業概要】目標①

障がい者に介護給付費、訓練等給付費、障害者医療費、補装具費を給付しました。対象者は身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、難病等の方となります。

- ・介護給付費、訓練等給付費 328,299 【介護給付費】：居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、療養介護、生活介護、短期入所、重度障害者等包括支援、施設入所支援、【訓練等給付費】：自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、自立生活援助、共同生活援助
- ・障害者医療費 33,987 ・補装具費 2,438
- ・地域生活支援事業 21,644 障がい者の生活を支援するため、相談支援、意思疎通支援、日常生活用具給付等、手話奉仕員養成研修、移動支援、地域活動支援センター、訪問入浴サービス、日中一時支援を行いました。対象者は身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、難病等の方
- ・障害児給付費 118,358 児童発達支援、放課後等デイサービス等の障害児通所支援を行いました。

◆電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業（均等割、子ども加算給付）

（3-1-1-15） 53,981（54,021） **物価高対策**

【国県支出金：53,981】

【事業概要】

国の物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増により、特に家計への影響がある低所得者世帯（住民税均等割のみ課税世帯）に対する臨時的な措置として、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金を支給しました。

- ・支給額：50,000 令和6年度市町村民税均等割のみ課税世帯分の場合は1世帯当たり10万円、子ども加算の場合は世帯内で扶養されている18歳以下の子1人当たり5万円を支給しました。

◆定額減税補足給付金 (3-1-1-16) 184,459 (186,339)

【国県支出金：184,459】 **物価高対策**

【事業概要】

税制改正により実施された令和6年度の定額減税（所得税3万円、住民税1万円）をしきれないと見込まれる方に、ひとり当たり最大4万円を1万円単位で差額を支給しました。

- ・支給額：174,890

◆価格高騰重点支援事業給付金（令和6年度非課税世帯及び子ども加算）

(3-1-1-17) 46,370 (71,823)

【国県支出金：46,370】 **物価高対策**

【事業概要】 目標①

国の総合経済を踏まえ、低所得者支援として価格高騰重点支援給付金を支給しました。

- ・支給額：45,730 令和6年度市町村民税均等割が非課税である世帯の場合は1世帯当たり3万円、子ども加算の場合は世帯内で扶養されている18歳以下の子1人当たり2万円を支給しました。

◆老人福祉事業 (3-1-2-1) 26,942 (27,525)

【その他特財：1,791 一般財源：25,151】

【事業概要】 目標①

- ・生きがいデイサービス事業 3,685 対象者は介護保険の認定を受けていない60歳以上で自ら通えることができるの方を対象に隣保館、中央公民館を会場に、毎週火曜日・水曜日・金曜日にそれぞれ定員30名でデイサービスを行いました。
- ・緊急通報装置貸与事業 3,674 65歳以上のひとり暮らし高齢者、ひとり暮らしの重度身体障がい者、高齢者世帯で世帯に属する者のいずれかが介護認定者又は重度身体障がい者である方に、緊急通報装置を貸与しました。
- ・福祉タクシー事業 1,223 要支援2又は要介護認定を受けている方がタクシーを利用する場合、1,000円を上限に料金の1/2を助成しました。助成内容は割引券を年間30枚を交付しました。
- ・紙おむつ支給事業 2,205 要介護認定1・2の市町村民税非課税世帯又は要介護認定3以上の方※に、1月当たり3,000円分の助成券を交付しました。（※所得制限あり）
- ・老人福祉大会・80歳の青年式事業 556 老人福祉大会では88歳の方への顕彰状贈呈式と80歳の青年式を酒々井町社会福祉協議会と共催で開催しました。
- ・はり・きゅう・マッサージ等施術利用料助成事業 5,278 はり・きゅう・マッサージ等の施術の利用助成券を交付しました。対象者は65歳以上の方で、助成内容は1月当たり2枚（1枚当たり1,000円）をの利用助成券を交付しました。
- ・酒々井町水仙クラブ連合会補助金 1,216 水仙クラブ連合会の活動を支援するため助成しました。
- ・高齢者外出支援タクシー利用助成事業 6,754 運転免許証を有していない満75歳以上の方等の外出を支援するため、タクシー利用助成券を交付しました。
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業 100 平成31年4月1日以降に運転免許証を自主返納された方で、自主返納時の年齢が70歳以上75歳未満の方に対し、外出を支援するため、タクシー利用助成券を交付しました。（交付は、1人1回限り）

- ・結婚 50 周年夫婦記念品支給事業 264 婚姻後 50 周年を迎えた夫婦に対し、記念品を贈りました。
- ・特別養護老人ホーム入所 500 地域での生活の維持が困難となり、生命や身体に重大な危険が生じる恐れがあった高齢者に対し老人福祉法の規定に基づき特別養護老人ホームに措置入所を行いました。

◆交流拠点施設げんき館運営事業 (3-1-2-2) 3,538 (3,552)

【その他特財：3,538】

【事業概要】目標①

高齢者など多世代が交流できる拠点施設を指定管理者により運営しました。

延べ入館者数 4,788人、一日あたり平均約16人



◆国民年金一般事務費 (3-1-3-1) 3,860 (3,982)

【国県支出金：3,810 一般財源：50】

【事業概要】目標①

国民年金の資格取得届、免除申請、裁定請求等の受付と日本年金機構への報告及び送付を行いました。

また、国民年金に関する相談と年に6回社会保険労務士による年金全般の相談を実施しました。これらの年金相談や届出時の説明により、年金制度の意義・役割の周知と保険料納付の促進を図りました。

◆国民健康保険特別会計への繰出経費 (3-1-4-1) 105,220 (115,839)

【国県支出金：65,766 一般財源：39,454】

【事業概要】目標①

次の費用を一般会計から国民健康保険特別会計へ繰り出しています。

- ・保険基盤安定繰入金として、低所得者に対する保険税軽減分（財源内訳 国 3/4、市町村 1/4）、保険税軽減世帯の割合等に応じて支援する保険者支援分（財源内訳 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4）
- ・未就学児に係る均等割保険料軽減分（財源内訳 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4）、
- ・産前産後保険料免除制度に係る経費（財源内訳 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4）
- ・出産育児一時金として支給している額の 2/3
- ・国民健康保険特別会計の総務費（事務費）分

◆介護保険特別会計への繰出経費 (3-1-5-1) 238,457 (237,508)

【国県支出金：11,633 一般財源：226,824】

【事業概要】目標①

介護保険事業を行う上での事務的経費及び介護給付費等の町負担分を支出しました。

◆介護保険事業 (3-1-5-2) 0 (150)

【国県支出金：0 一般財源：0】

【事業概要】目標①

町内における介護職員の雇用を確保し、介護サービスの安定した提供に資するため、介護保険初任

者研修の受講費用を上限 5 万円又は研修費用の半額どちらか小さい額を助成する事業ですが、令和 6 年度は交付実績がありませんでした。※令和 5 年度実績 3 件 75 千円

◆後期高齢者医療事業 (3-1-6-1) 341,722 (340,552)

【国県支出金：40,025 その他特財：7,399 一般財源：294,298】

【事業概要】目標①

75 歳以上の方が加入する後期高齢者医療保険に関する経費や健康増進並びに医療費の適正化を図るために、千葉県後期高齢者医療広域連合から委託を受けた、後期高齢者を対象とした健康診査を実施するとともに、病気の早期発見と早期治療に役立てるため、人間ドック費用の一部を助成しました。

- ・療養給付費負担金 255,486 ・広域連合負担金 13,265 ・後期高齢者医療特別会計繰出金 56,465
- ・健康診査 5,398 ・人間ドック費用の助成 10,616

◆ひとり親福祉推進事業 (3-2-3-1) 8,223 (8,666)

【国県支出金：3,792 一般財源：4,431】

【事業概要】目標①

- ・ひとり親家庭等医療費助成 7,469 ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図るため医療費等の自己負担分(全部又は一部)を助成しました。対象者は年度末で 18 歳以下(心身に一定の障害がある場合は 20 歳未満まで)の児童を監護しているひとり親家庭の父母、または父母に代わって児童を療育している人及びその児童(所得制限あり)です。助成内容は保険適用分のみ対象(一部負担金あり)となります。
- ・酒々井町母子寡婦福祉会補助金 85 母子寡婦福祉会の活動を支援するため助成しました。
- ・国民健康保険特別会計の総務費(事務費)分 ・出産育児一時金として支給している額の 2/3

◆人権推進一般事務費 (3-3-1-1) 11,815 (12,705)

【国庫支出金：48 一般財源：11,767】

【事業概要】目標⑦

様々な人権問題の解決を目指し、あらゆる差別の撤廃と人権尊重の意識を高めるため、啓発活動を行いました。

人権教育の一環として、小・中学生を対象とした人権教室の実施、町内の小学生が描いた人権啓発ポスターの展示を行いました。人権週間(12月4日から10日まで)では、人権をテーマとした講演会、広報車による巡回啓発を行いました。

*子ども家庭総合支援拠点事業委託業務 7,031 千円

*子ども家庭総合支援拠点事業業務(会計年度任用職員) 3,806 千円

すべての子どもとその家族等からの福祉に関する相談に応じて、必要な支援を継続的に行うため、「子ども家庭支援員」を設置し、会計年度任用職員 3 名及び福祉法人により 1 名を配置しました。

- ・DV相談 ・子ども家庭相談、児童虐待相談 ・子どもに関する相談・支援
- ・職員虐待対策講習会

◆人権推進事業（3-3-2-1） 3,106（3,059）

【一般財源：3,106】

【事業概要】 目標⑦

人権施策推進業務を行いました。

◆隣保館運営事業（3-3-2-2） 12,891（12,542）

【国県支出金：6,700 その他特財：17 一般財源：6,174】

【事業概要】 目標⑦

地域社会全体の福祉向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活相談や人権課題解決のため各種事業を行いました。さらに、隣保館利用者と地域住民との交流をより深めるために、隣保館まつりを開催しました。

【基本事業】 *相談事業：就労に関する情報提供、生活相談（随時） *啓発事業：人権ふれあい講座（6月28日・12月25日） *地域交流事業：高齢者音楽健康教室（24回）、フラワーアレンジメント教室（11回）、ヨガ教室（21回） *第8回隣保館まつり：令和6年10月12日（土）（延べ250名）

【貸館業務】 *生きがいデイサービス事業（87回）

【自主サークル活動】 *鎌倉彫（6回）・あみもの（13回）・カラオケ同好会（20回）・ふるさと会（22回） 健やか体操（20回）・ヨガ（14回）・吹き矢（3回）・KSバンド（2回）

◆住宅維持管理事業（3-3-2-3） 1,493（1,973）

【その他特財：1,493】

【事業概要】 目標⑦

小集落改良住宅等の管理を行いました。

◆住宅新築資金等貸付事業（3-3-2-4） 1（2）

【国県支出金：1】

【事業概要】 目標⑦

住宅新築資金等の償還事務を行いました。

◆災害救助事業（3-4-1-1） 51（52）

【一般財源：51】

【事業概要】 目標③

自然災害により被害を受けた住民に対する災害援護資金貸付に係る事務負担金を支出しました。



◆保健センター 一般事務費 (4-1-1-1) 10,630 (144,085)

【その他特財：5,445 一般財源：5,185】

【事業概要】目標①

*夜間医療体制等の確保 1,472

夜間、日曜日・祝日及び年末年始の医療、小児初期急病診療サービスを確保しました。

【印旛市郡小児初期急病診療所】(0～15歳)

診療日	診療時間
月～土曜日	19時～23時
日曜日・祝日・年末年始	9時～17時、19時～23時

場 所：佐倉市江原台2-27 (佐倉市健康管理センター内)

電 話：043-485-3355

【成田市急病診療所】

診療科目	診療日	診療時間
内科・小児科	毎日 (日曜日を含む)	19時～23時
	日曜日・祝日 8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時
外科	日曜日・祝日 8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時
歯科	祝日 (日曜を除く)・振替休日 8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時

場 所：成田市赤坂1-3-1 (成田市保健福祉館敷地内)

電 話：0476-27-1116

・保健センター大規模改修事業 5,801

昭和59年3月に建設された保健センターは、地域保健の重要な役割を担っている施設であり、また、災害時の救護所として位置づけられていることから、町民の生命と健康を守るため、施設を早期に再開させることに必要な改修事業に係る設計の見直し業務を行いました。

◆ 予防接種事業 (4-1-2-1) 69,443 (52,959)

【国県支出金：430 一般財源：69,013】

【事業概要】 目標①

次の予防接種を行い、個人の健康管理を行うとともに感染症の流行防止に努めました。

	対 象	内 容	費 用	対象者数 延べ(人)	接種者数 延べ(人)
定期 接種	乳幼児	百日せきジフテリア 破傷風ポリオヒブ混合	無 料	3 7 2	3 9 2
		麻しん風しん混合 (1期・2期)		1 7 8	1 8 6
		B C G		9 3	9 4
		日本脳炎(1期・2期)		3 7 3	4 7 9
		ヒブ		8 2	1 1 7
		小児用肺炎球菌		3 7 2	3 8 5
		水痘		1 6 4	1 9 5
		B型肝炎		2 7 9	2 7 7
		ロタウイルス		2 0 0	1 9 9
	9歳～19歳	日本脳炎(特例措置)	—	—	2 5
	小学6年生	ジフテリア破傷風混合	—	1 3 6	1 1 5
	小学6年生～高校1年生 女子・未接種者	子宮頸がん(ヒトパピ ローマウイルス)	—	7 6 7	8 5 7
	65歳以上希望者	インフルエンザ	助成額：4,000円	6, 6 7 4	3, 8 4 1
65歳	高齢者肺炎球菌	助成額：4,600円	1 6 8	3 5	
昭和37年4月2日～ 昭和54年4月1日 生まれの男性	抗体検査	無料	1, 8 0 0	5 2	
	麻しん風しん混合	無料	—	7	
任意 接種	2歳～17歳の未接種者	麻しん風しん混合	無料	—	1
	18歳以上の妊娠を希望 する女性とその配偶者	麻しん風しん混合	助成額 麻しん風しん混合： 5,000円 風しんのみ：3,000円	—	5

◆ 結核健康診断事業 (4-1-2-2) 1,238 (1,584)

【一般財源：1,238】

【事業概要】 目標①

65歳以上の方を対象として、疾病の早期発見・早期治療を目的として胸部X線検査を実施しました。 対象者数 6, 6 5 3人 受診者数 9 3 8人

◆感染症予防対策事業 (4-1-2-3) 26,207 (23,344)

【国県支出金：4,013 その他特財：13,554 一般財源：8,640】

【事業概要】目標①

予防接種法に基づき、新型コロナウイルスワクチン接種を65歳以上の希望される方に対して実施しました。助成額11,800円

対象者数 6,674人 接種者数 1,669人 接種率 25.0%

◆健康増進事業 (4-1-3-1) 27,816 (32,557)

【国県支出金：2,649 その他特財：1,792 一般財源：23,375】

【事業概要】目標①

健康増進のため、健康教育、健康相談、各種検診を実施しました。

項目		対象等	実施回数・参加者数
健康 教育	糖尿病予防教室※	20歳以上	1回・13人
	ヘルスアップセミナー※	20歳以上	6回・延べ36人
	いきいきしすいっ子教室	酒々井小・大室台小5年生	各校1回 121人
健康相談		—	来所者：延べ98人 電話：延べ18人
健康手帳の配布		20歳以上の希望者	182人
健幸ポイント事業		20歳以上の町民	15人

項目		対象	自己負担	対象者数(人)	受診者数(人)
乳がん 検診	エコー	30歳代・40歳 代偶数歳	保健センター1,000円 医療機関 2,000円	6,818	集団114 個別19
	マンモグラフィ	50歳以上・40 歳代奇数歳	保健センター1,000円 医療機関 2,000円		集団892 個別150
子宮頸がん検診		20歳以上	保健センター1,000円 医療機関 2,000円	4,393	集団398 個別115
胃がん検診		40歳以上	1,000円	13,180	613
大腸がん検診		40歳以上	保健センター 300円 医療機関 700円	13,180	集団1,419 個別168
肺がん検診		40歳以上	300円	13,180	1,202
肝炎ウイルス検診		40歳以上	無料	2,303	291
骨粗しょう症予防検診		30・35・40・45・ 50・55・60・65・ 70歳(女性)	500円	1,002	195
成人歯科検診		40歳以上	無料	13,180	87

※乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診には、無料クーポン券によるがん検診受診者を含む。

再掲 無料クーポン券によるがん検診

項 目	対 象	対象者数 (人)	受診者数 (人)
子宮頸がん検診	20・25・30・35・40歳	505	74
乳がん検診 (マンモグラフィ)	40・45・50・55・60歳	646	167
大腸がん検診	40・45・50・55・60歳	1,272	162

*酒々井健康プラン策定業務 4,554

子どもから高齢者まで誰もがいきいきと輝くまちづくりを目指して健康増進・食育推進・歯科口腔保健・自殺対策を一体的に推進するため、平成31年3月に策定した「酒々井健康プラン」の中間評価を令和5、6年度の継続事業として実施し、計画内容の見直しを行いました。

令和5年度は、18歳以上の町民、小学4年生及び中学1年生を対象者にアンケート調査を実施しました。令和6年度は、アンケートを集計し現状の把握、課題の整理と中間評価を行い、計画の改訂版を令和7年3月に策定しました。



◆母子保健推進事業（4-1-4-1） 25,008（26,396）

【国県支出金：8,838 一般財源：16,170】

【事業概要】目標①

妊娠中から子育て中の方が健やかに育児できるよう次の母子保健事業を行いました。

事業名	対象	実施期間	対象者数 (人)	受診者・ 参加者数 (人)
母子健康手帳交付	妊婦	通年	73	(面接者数) 73
妊婦・乳児支援タクシー	妊婦・産婦	通年	73	利用者18
妊婦・乳児 一般健康診査	妊婦（14回）	通年	93	延べ1,153
	乳児（2回）		—	延べ119
ママ・パパ歯科検診	妊婦 配偶者	通年	妊婦73 配偶者—	妊婦33 配偶者16
マタニティ・ママパパクラス	妊婦・家族	1コース4回 年3コース	—	延べ35
新生児・産婦訪問指導	新生児・産婦	通年	94	94
産後ケア事業	産婦	通年	87	延べ34
出産子育て応援給付金	①妊婦 ②養育者	通年	①75②95	①75②95
乳児相談	4か月児	年12回	97	90
	10か月児		93	84
出生祝品の配布 (ブックスタート)	4か月児	年12回	97	89
幼児健康診査	1歳6か月児	年6回	90	85
	3歳児	年6回	80	70
2歳児歯科健康診査	2歳児	年4回	99	73
なかよしはみがき教室	保育園児 幼稚園児	年6回	82	76
幼児健診事後指導教室 (遊びの教室どんぐり)	幼児・保護者	年11回	—	延べ47組
心理発達相談（親子相談）	幼児・保護者	年10回	—	延べ15組
ことばの教室プラム	3歳6か月～未就学児	年27回	—	延べ82

◆**栄養改善推進事業費（4-1-5-1） 135（171）**

【一般財源：135】

【事業概要】目標①

食育を推進するため以下の事業を行いました。

- ・食育講座 1回 参加者 19人
- ・大人の食育教室（太巻き祭り寿司作り）1回 15人
- ・乳児相談、幼児健康診査において、受診者に栄養相談とパンフレット配布を実施しました。

■**こども課**◆**児童福祉一般事務費（3-2-1-1） 2,123（2,417）**

【その他特財：2 一般財源：2,121】

【事業概要】目標①

地域における児童を対象として、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、自主性、社会性、創造性を高め、情操を豊かにするため児童遊園用地の整備および維持管理を行いました。

◆**放課後子ども教室事業（3-2-1-2） 1,321（1,929）**

【国県支出金：421 一般財源：900】

【事業概要】目標①

様々な体験等を通して児童の健全育成を図るため、小学校の体育館などを活用し、（地域の方々の協力を得て、）体を使った遊び等をする放課後子ども教室を開催しました。

酒々井小学校・大室台小学校…週1回開催

	開催日	開催日数	登録児童数	参加児童数（1日平均）
酒々井小学校	毎週火曜日	30日	202人	28人
大室台小学校	毎週月曜日	18日	205人	37人

◆**放課後児童クラブ事業（3-2-1-3） 56,733（62,770）**

【国県支出金：33,944 一般財源：22,789】

【事業概要】目標①

昼間、就労等により保護者による監護ができない小学生を対象に、町内4ヶ所において、放課後の安全な居場所を提供するとともに、適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全な育成を図りました。

名称	委託料・補助金	開設日数	登録児童数 (R7.3.31)
酒々井小学校児童クラブ	18,384千円	291日	95人
大室台小学校児童クラブ	17,091千円	287日	45人
昭苑学童クラブ	12,047千円	287日	68人
BEAR BEE 学童クラブ	5,024千円	252日	24人

◆子ども・子育て支援事業 (3-2-1-4) 32,549 (33,140)

【国県支出金：17,064 その他特財：126 一般財源：15,359】

【事業概要】目標①

子育て家庭の包括的な支援及び子どもの健全な育成に資するため、保健センター等と連携を図りながら、酒々井町子育て支援センター等において、子ども・子育て支援事業を実施しました。

第3期酒々井町子ども・子育て支援事業計画を策定し、子ども・子育て施策の推進を図ります。(令和5・6年度継続事業)

<子ども・子育て支援事業>

- ・地域子育て支援拠点事業 (保育士等による、子育て中の親子の交流促進や育児相談等)
- ・あいあい (公設)・しょうえんこどもこそだてルーム (委託)
- ・ファミリー・サポート・センター事業 (子育ての相互援助活動の連絡調整)
- ・利用者支援事業 (身近な場所での教育・保育に関する相談等)

◆高等学校等奨学給付金事業 (3-2-1-5) 1,197 (2,706)

【一般財源：1,197】

【事業概要】目標①

経済的な理由により高等学校等に進学が困難な方に対し、奨学給付金を支給し、教育の機会均等を図りました。

◆児童手当支給事業 (3-2-2-2) 246,341 (254,124)

【国県支出金：210,503 一般財源：35,838】

【事業概要】目標①

中学校3年生までを対象に、児童手当を支給しました。受給できる方は子どもを養育する父母等、児童手当の額は3歳未満(月額15,000円)、3歳から小学校6年生までの第1子・第2子(月額10,000円)、第3子以降(月額15,000円)、中学生(月額10,000円)

※所得制限限度額以上、所得上限限度額未満の場合の児童手当の額は一律、月額5,000円

令和6年10月から制度改正により、高校3年生までを対象に、所得制限なしで児童手当を支給しました。児童手当の額は3歳未満(15,000円)、3歳から高校3年生まで(月額10,000円)、第3子以降(月額30,000円)



◆酒々井町就学前の子どもの生活応援給付金支給事業 (3-2-2-15) 13,986 (0)

【国県支出金：13,986】

物価高対策

【事業概要】目標①

エネルギー・食糧品価格等による物価高騰の影響を踏まえ、新生児を含む就学前の児童を養育する世帯に対し、一人あたり20,000円を臨時的な給付措置として、生活応援給付金を支給しました。支給対象者は690名。

◆中央保育園運営事業（3-2-4-1） 63,604（64,499）

【国県支出金：1,396 その他特財：6,635 一般財源：55,573】

【事業概要】目標①

町立中央保育園の運営を行いました。

◆岩橋保育園運営事業（3-2-4-2） 151,303（155,274）

【国県支出金：4,389 その他特財：21,722 一般財源：125,192】

【事業概要】目標①

町立岩橋保育園の運営を行いました。

◆保育委託事業（3-2-4-3） 189,295（199,444）

【国県支出金：139,118 その他特財：3,458 一般財源：46,719】

【事業概要】目標①

町立保育園以外の保育園等へ保育を委託しました。3歳児以上の幼稚園や保育園を利用する児童の保護者に対し、施設を利用する認定や無償化の認定を行い、保護者が負担する保育料を無料としました。

◆子ども医療助成事業（4-1-4-2） 58,080（61,530）

【国県支出金：14,774 一般財源：43,306】

【事業概要】目標①

保健の向上及び経済的負担の軽減を図るため、中学生までの医療費の自己負担分を助成しました。令和7年1月診療分より、助成対象者を高校生等まで拡大し、医療費の自己負担分を助成しました。

◆養育医療助成事業（4-1-4-4） 577（1,071）

【一般財源：577】

【事業概要】目標①

養育のため病院等に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療費を給付し、乳児の生命の保護及び健康増進を図ります。令和6年度は、該当者0名でした。

◆酒々井町高校生医療助成事業（4-1-4-5） 60（876）

【一般財源：60】

【事業概要】目標①

保健の向上及び経済的負担の軽減を図るため、高校生の入院に係る医療費の自己負担分を償還にて助成しました。令和7年1月診療分より子ども医療助成事業の対象者が拡大したことにより、令和6年12月診療分までの支出となります。

◆教育委員会一般事務費（こども課）(9-1-1-1) 1,915 (2,026)

【一般財源：1,915】

【事業概要】目標②

教育委員の報酬、委員研修負担金、教育委員会連絡協議会負担金等を支出しました。

◆教育総務一般事務費（こども課）(9-1-2-1) 17,996 (12,522)

【その他特財：15 一般財源：17,981】

【事業概要】目標②

教育施策に係る事務費及び事務局研修負担金、各協議会負担金を支出しました。

学校施設が抱える老朽化をはじめとする多くの課題に対応し、計画的な学校施設整備を行うため、町内学校施設の全体整備方針を策定するための酒々井町学校施設あり方検討会議を開催しました。

◆私立幼稚園補助事業（9-1-2-8） 162（162）

【一般財源：162】

【事業概要】目標②

- ・私立幼稚園運営費・教材費補助事業

町内の私立幼稚園（子ども・子育て支援法の確認を受けた私立幼稚園を除く。）に運営費及び教材費を補助しました。

*運営費補助金：1園当たり10万円 *教材費補助金：園児（町内在住）1人当たり1,000円



◆酒々井小学校管理事業（酒々井小）(9-2-1-1) 1,444（1,450）

【一般財源：1,444】

【事業概要】目標②

酒々井小学校の児童が十分な教育を受けるために必要な授業の消耗品等を購入しました。

◆大室台小学校管理事業（大室台小）(9-2-1-3) 1,450（1,450）

【一般財源：1,450】

【事業概要】目標②

大室台小学校の児童が十分な教育を受けるために必要な授業の消耗品等を購入しました。

◆酒々井小学校管理事業（こども課）(9-2-1-11) 15,662（16,978）

【その他特財：27 一般財源：15,635】

【事業概要】目標②

酒々井小学校の児童が安心・安全に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の維持管理を行いました。

- ◆酒々井小学校施設整備管理事業（こども課）(9-2-1-12) 49,971 (61,651)
【国庫支出金：139 地方債：31,200 その他特財：3,467 一般財源：15,165】
【事業概要】目標②
酒々井小学校の児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の営繕を行いました。
老朽化が進んでいた酒々井小学校プールの解体工事を行いました。

- ◆大室台小学校管理事業（こども課）(9-2-1-13) 11,259 (12,797)
【その他特財：285 一般財源：10,974】
【事業概要】目標②
大室台小学校の児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の維持管理を行いました。

- ◆大室台小学校施設整備管理事業（こども課）(9-2-1-14) 15,137 (13,519)
【国庫支出金：139 一般財源：14,998】
【事業概要】目標②
大室台小学校の児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の営繕を行いました。

- ◆中学校管理事業（酒々井中）(9-3-1-1) 2,446 (2,450)
【一般財源：2,446】
【事業概要】目標②
酒々井中学校の生徒が十分な教育を受けるために必要な授業の消耗品等を購入しました。

- ◆中学校管理事業（こども課）(9-3-1-11) 17,378 (18,502)
【その他特財：201 一般財源：17,177】
【事業概要】目標②
酒々井中学校の生徒が安心・安全に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の維持管理を行いました。

- ◆中学校施設整備管理事業（こども課）(9-3-1-12) 16,486 (13,603)
【国庫支出金：138 一般財源：16,348】
【事業概要】目標②
酒々井中学校の生徒が安心・安全に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の営繕を行いました。
老朽化が進んでいた酒々井中学校屋内消火栓設備ポンプ更新工事を行いました。

■文化観光課

◆観光事業（6-1-3-1） 2,342（2,820）

【一般財源：2,342】

【事業概要】目標⑥

- ・町の特産品及び町の歴史パネルをJR酒々井駅のケースディスプレイに展示しました。
- ・町外で開催されるイベント等へ積極的に参加し、観光客の誘客を図りました。
- ・公衆無線Wi-Fi及び観光アプリの維持管理を行いました。
- ・郷土への愛着や誇りを更に高めるとともに、町のイメージ向上とブランド形成を図るべく「酒々井・千葉氏まつり」を開催しました。

◆コミュニケーションセンター事業（6-1-3-2） 6,512（6,508）

【一般財源：6,512】

【事業概要】目標⑥

酒々井プレミアム・アウトレット内の「酒々井コミュニケーションセンター」において、訪れる方に町の観光物産等に関する情報を広く提供することにより、町のイメージアップと町内への誘客を図りました。

◆ハーブガーデン運営事業（6-1-4-2） 3,391（3,416）

【一般財源：3,391】

【事業概要】目標⑥

酒々井コミュニティプラザに隣接するしすい・ハーブガーデンの運営を行い、「ハーブのまち酒々井」のPRとあわせ、憩いの場の提供や、観光施設としての魅力向上に取り組みました。

◆まるごとしすい運営事業（6-1-6-1） 9,000（9,000）

【その他特財：1 一般財源：8,999】

【事業概要】目標⑥

「まるごとしすい」において、定期的なイベント等の開催により、アウトレット利用者呼び込み、特産品等のマーケティング、中小企業・小規模事業者への新たな特産品等の開発や販路の確立等の相談支援に取り組みました。併せて、酒々井プレミアム・アウトレットの集客効果を活かすため、酒々井コミュニケーションセンターと連動した運営により、町のイメージアップと街中への誘客を図りました。

◆まちの顔づくり推進事業（9-4-2-3） 3,509（5,346）

【その他特財：13 一般財源：3,496】

【事業概要】目標②

江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を行い、観光資源として活用すると共に、交流人口の増加に資するため歴史的建造物の利活用を進めました。国登録文化財・筋吉五郎家の資料整理及び補修、町登録文化財・相川文子家の管理を行いました。

- ・旧筋家住宅土蔵修繕事業：強風や大雨の影響により破損した下屋の修繕を行いました。土蔵の修繕については、物価高騰の影響や専門的な工事であることから補修工事を実施出来ず、繰越処理を行いました。
- ・旧相川家及び周辺地域の活性化・再生事業：包括連携協定を結んでいる千葉工業大学と古民家の利活用について検討を行う予定でしたが、学生の取り組みや研究活動の進展状況において期待された成果を十分に得られなかったため、実施には至りませんでした。

◆酒々井の伝説ものづくり事業（9-4-2-16） 1,291（1,945）**【一般財源：1,291】****【事業概要】 目標②**

町の文化である民話等の地域の資源・宝を整理し、見える化の為のデータ化等により後世へ伝承するとともに、町内外へ発信しました。

- ・しすいみんなマップ作成事業：町内の民話や伝承を紹介するマップを作成しました。
- ・しすいみんな普及事業：民話CDを作成する予定でしたが、プリミエールで行っている町電子書籍サービスでしすいみんな絵本の閲覧が可能であることから、経費節減の観点から実施しませんでした。
- ・清光寺史料調査事業：包括連携協定を結んでいる淑徳大学協力のもと、史料整理を行うと共にこれまでの史料調査に基づく報告会を開催しました。

■経済環境課**◆環境衛生対策事業（4-1-6-1） 22,176（22,214）****【国県支出金：101 その他特財：394 一般財源：21,681】****【事業概要】 目標④**

- ・畜犬管理システムで飼い犬の登録や管理、狂犬病予防注射の啓発を行いました。
- ・飼い主のいない猫の避妊・去勢手術及び譲渡を実施した団体に補助金の交付等を行いました。
- ・葬祭組合の管理運営に係る経費を負担しました。

（佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合 構成市町：佐倉市、四街道市、酒々井町）

◆環境保全対策事業（4-1-7-1） 21,074（33,176）**【国県支出金：10,221 その他特財：40 一般財源：10,813】****【事業概要】 目標④**

- ・町の環境に関する事項について酒々井町環境審議会を開催して、審議を行いました。
- ・河川水質検査等の環境調査を行いました。
- ・あき地に繁茂している雑草等の除去に関する条例に基づき、指導・勧告等を行いました。
- ・印旛沼水質保全協議会等の運営に係る経費を負担しました。
- ・馬橋川沿岸の盛土の調査、測量等を行いました。

◆地球温暖化対策推進事業（4-1-7-4） 2,680（3,480）

【国県支出金：1,420 一般財源：1,260】

【事業概要】目標④

ご家庭における地球温暖化対策促進のため、太陽光発電システム（新築のみ）、家庭用燃料電池システム（エネファーム）、定置用リチウムイオン蓄電池システム、電気自動車、V2H充放電システムの住宅設備等を購入、設置する町民に補助金の交付を行いました。

◆清掃一般事務費（4-3-1-1） 2,086（2,170）

【国県支出金：120 一般財源：1,966】

【事業概要】目標④

- ・不法投棄監視員による月1回のパトロールを実施し、廃棄物及び残土の不法投棄監視を行いました。
- ・不法投棄された廃棄物の処分を行いました。
- ・5月にごみゼロ運動を実施しました。
- ・ごみ分別促進アプリの運用・更新を行いました。



◆じん芥処理事業（4-3-2-1） 222,786（223,763）

【その他特財：1,413 一般財源：221,373】

【事業概要】目標④

- ・一般家庭から排出される廃棄物の収集運搬を行いました。
- ・リサイクルを推進するため、資源回収を行う団体等に対し報償金、また、事業者に対し奨励金の交付を行いました。
- ・ごみ減量化を推進するため、ペットボトルの拠点回収等を行いました。
- ・生ごみ減量化を図るため、自家処理堆肥化容器（コンポスト）及び機械式生ごみ処理機を購入し設置する町民に補助金の交付を行いました。
- ・清掃組合の管理運営及び建設等に係る経費を負担しました。
(佐倉市、酒々井町清掃組合 構成市町：佐倉市、酒々井町)



◆し尿処理事業（4-3-3-1） 16,133（18,022）

【国県支出金：416 一般財源：15,717】

【事業概要】目標④

- ・印旛沼の水質浄化を目的に単独浄化槽から転換を推進するため、補助対象区域内に高度処理型合併浄化槽等を設置する町民に補助金の交付を行いました。
- ・衛生施設管理組合の管理運営等に係る経費を負担しました。
(印旛衛生施設管理組合 構成市町：佐倉市、四街道市、八街市、富里市、酒々井町)

◆農業一般事務費（5-1-2-1） 197（201）

【一般財源：197】

【事業概要】目標⑥

各種農業団体への負担金を支出しました。

◆農業振興管理事業（5-1-3-1） 9,164（11,886）

【国県支出金：1,355 その他特財：3 一般財源：7,806】

【事業概要】目標⑥

- ・農産物の生産振興のため、ふるさとまつり実行委員会や植物防疫協会などの団体に対し、補助金等の交付を行いました。
- ・イノシシ等の有害鳥獣被害防止対策に取り組みました。
- ・次世代を担う意欲ある新規就農者1名に対し、農業経営開始資金を交付しました。

◆農業基盤整備事業（5-1-3-2） 5,098（6,913）

【国県支出金：782 その他特財：22 一般財源：4,294】

【事業概要】目標⑥

- ・農業・農村の有する水源の涵養・自然環境の保全等の多面的機能の発揮のため、農用地・水路・農道等の地域資源の保全管理を行う地域団体に対して多面的機能支払交付金を交付しました。
- ・農道整備のための砕石を支給しました。

◆畜産振興事業（5-1-4-1） 5（6）

【一般財源：5】

【事業概要】目標⑥

畜産の振興及び家畜衛生事業を推進するため、家畜伝染病対策などの指導を行いました。

◆生産調整推進対策事業（5-1-5-1） 4,008（5,007）

【国県支出金：356 一般財源：3,652】

【事業概要】目標⑥

生産調整協力者17名に奨励補助金の交付及び経営所得安定対策の推進のため、地域農業再生協議会へ補助金の交付を行いました。

◆地域向上対策事業（5-1-6-1） 1,011（922）

【その他特財：111 一般財源：900】

【事業概要】目標⑥

地域住民の生活の充実、文化の向上及び社会活動を推進するため、農産物加工等を行える生涯生活センターの管理運営を行いました。

◆林業管理事業（5-2-1-1） 3,345（3,352）

【一般財源：3,345】

【事業概要】目標⑥

森林整備等に必要な財源に充てるため令和元年度に創設され、国から町に譲与される森林環境譲与税を活用し、森林整備に向けた森林状況の調査を行うとともに、今後の森林整備等に向け基金へ積み立てを行いました。



◆水産業事業 (5-3-1-1) 135 (135)

【一般財源：135】

【事業概要】目標⑥

印旛沼、利根川水系の漁場環境保全を推進するため、ウナギ及びフナ等の稚魚の放流を支援しました。

◆商工一般事務費 (6-1-1-1) 4,144 (4,107)

【一般財源：4,144】

【事業概要】目標⑥

- ・安全な消費生活のために、悪質商法、契約に係るトラブルなどに関する相談について、毎週火曜日、消費者相談員による相談受付をしました。
- ・まちづくりへの積極的な参画など、商工業の振興を図る事業を行う町商工会に対し補助金の交付を行いました。

◆商工業振興事業 (6-1-2-1) 4,800 (3,803)

【その他特財：3,000 一般財源：1,800】

【事業概要】目標⑥

- ・地域の活性化や若手後継者、小規模事業者の育成など、振興を図る事業（イベントなど）を行う町商工会に対し補助金の交付を行いました。
- ・産業の振興及び活性化を図るため、町内で創業する方に対し補助金の交付を行いました。



◆企業誘致事業 (6-1-2-2) 2 (27)

【一般財源：2】

【事業概要】目標⑥

酒々井 I C 等周辺でポテンシャルが高い地区の土地の有効活用を進め、製造・流通・業務系の事業者等の誘致に向けた取り組みを行いました。また、既存の工業団地で未利用となっている土地所有者に対し、事業化の働きかけを行いました。

◆コミュニティプラザ運営事業 (6-1-4-1) 21,411 (16,760)

【その他特財：5,099 一般財源：16,312】

【事業概要】目標⑥

コミュニティプラザには、大広間、浴室、多目的ホール等があり、健康増進や憩いの場として町民に利用されています。（予約申込は1か月前から電話予約可能）

利用時間は9時から21時（浴室11時から20時）、休館日は年末年始（施設等点検のため臨時休館あり）、利用料は大広間1時間当たり600円（夜間900円）、会議室1時間当たり200円（夜間300円）、浴室1人当たり100円（夜間150円）、多目的ホール、全面利用1時間当たり1,000円（夜間1,500円）・半面利用1時間当たり500円（夜間750円）

※夜間料金は、午後5時から利用の場合です。※町外の方は料金が異なります。

◆ちびっこ天国運営事業（6-1-5-1） 623（596）

【その他特財：623】

【事業概要】目標⑥

老朽化に伴い休園となっているちびっこ天国の適切な維持管理を行いました。

■農業委員会事務局

◆農業委員会運営事業（5-1-1-1） 6,800（7,058）

【国県支出金：1,177 一般財源：5,623】

【事業概要】目標⑥

農業委員会総会の開催等に関する事業を行いました。

◆農用地利用実践事業（5-1-1-4） 905（957）

【国県支出金：45 その他特財：261 一般財源：599】

【事業概要】目標⑥

農地等の利用の最適化（担い手への農地利用集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）に関する事業を行いました。

■まちづくり課

◆道路橋りょう一般事務費（7-1-1-1） 13,844（9,029）

【その他特財：586 一般財源：13,258】

【事業概要】目標⑤

道路台帳補正業務を実施することで、最新の道路台帳データを提供し窓口サービスの向上を図りました。また、未登記処理調査を実施し未登記となっている用地の解消、将来未登記となる恐れのある箇所を未然に防ぎました。

・道路台帳補正 4,323 ・道路管理システム更新業務 2,475 ・未登記処理調査費 5,675

◆交通安全対策事業（7-1-2-1） 3,766（3,770）

【その他特財：94 一般財源：3,672】

【事業概要】目標③

道路反射鏡や防護柵などの交通安全施設を維持管理し、車両による事故防止や安全な歩行空間の確保を図りました。

・道路反射鏡修繕 1,278 ・区画線引直し 1,752 ・交通安全施設管理 670

◆防犯街灯事業（7-1-2-2） 33,164（36,874）

【一般財源：33,164】

【事業概要】目標③

防犯街灯の維持管理を行い、夜間の犯罪防止や交通事故防止等、利用者が安心して通行できる道路環境の確保を図りました。また、自治会にて管理している防犯街灯の電気料・修理費・新規設置のた

め費用の一部を助成しました。

- ・町管理防犯街灯電気料金 17,056 ・自治会管理防犯街灯電気料金 7,456
- ・自治会管理防犯街灯補助：電気料補助（当該年度4月分電気料×12か月×70%）、修理費補助（修理費×50%）、新規設置等補助（工事費×50%（上限：共架25,000円・小柱40,000円））

◆駐輪場事業（7-1-2-3） 17,560（17,739）

【その他特財：9,383 一般財源：8,177】

【事業概要】目標⑤

酒々井町にて運営しているJR酒々井駅（西口・東口）及び京成酒々井駅（東口）の自転車駐車場等の維持管理を行い、利用者の利便性向上を図りました。

- ・京成酒々井駅東口及びJR酒々井駅東口・西口自転車等駐車場管理業務 6,248
- ・JR酒々井駅自動ゲートシステム賃貸借 9,478



◆社会資本整備総合交付金事業(交安)（7-1-2-4） 19,635（0）

【国県支出金：5,065 地方債：2,100 一般財源：12,470】

町道02-009号線の道路改良事業（酒々井地先）については、国道51号と国道296号が交差する上本佐倉交差点を迂回するルートとなっており、交通量が多い通学路となっているため安全・安心な通学路の整備を推進すると共に、無電柱化事業も併せて推進しました。

- ・歩道舗装工事 5,013 ・管路台帳及び道路台帳整備業務 9,174

◆道路維持事業（7-1-3-1） 59,222（60,386）

【その他特財：15,456 一般財源：43,766】

【事業概要】目標⑤

管理道路を適切に維持管理し、車両通行の円滑化及び道路環境の向上を図りました。また、緊急対応が必要な道路の補修工事を行い、道路機能を維持しました。

- ・道路除草委託 4,593 ・街路樹年間管理 8,085 ・道路維持補修 19,290 ・道路構造物点検 5,247

◆社会資本整備総合交付金事業(道維)（7-1-3-2） 20,036（48,000）

【国県支出金：8,000 地方債：3,200 一般財源：8,836】

【事業概要】目標⑤

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、予防保全型の維持補修を行うことで、施設に求められる性能を保持する期間を延ばし補修予算縮減を実現するとともに、長期にわたって健全な状態を保ち、安全な道路環境の確保を図りました。

- ・JR酒々井駅自由通路橋梁点検（JR軌道外）2,035
- ・台橋外2橋橋梁点検（JR軌道内）17,506



◆道路改良新設事業（7-1-4-1） 3,126（4,827）

【一般財源：3,126】

【事業概要】目標⑤

町道の改良・排水整備等を行うため、事業を推進しました。

- ・町道2B-049号線概略設計484 ・町道2B-049号線路線測量1,100

◆社会資本整備総合交付金事業(道改)（7-1-4-4） 23,563（172,306）

【国県支出金：5,145 地方債：3,700 一般財源：14,718】

【事業概要】目標⑤

町道02-012号線の道路改良事業（飯積地先）については、中心市街地から酒々井南部地区への連絡機能を強化し、利便性向上を図るため、事業を推進しました。

- ・積算業務（(公財)千葉県建設技術センター）4,488 ・橋梁詳細設計業務16,390

◆河川一般事務費（7-2-1-1） 15（15）

【一般財源：15】

【事業概要】目標⑤

河川協会会費を支出しました。15

◆河川改修事業（7-2-2-2） 54,126（293,801）

【地方債：46,100 一般財源：8,026】

【事業概要】目標⑤

昨今頻発する水災害等を踏まえ、洪水を一時的に貯留する調節池の整備を実施します。調節池設置箇所直下から最下流の印旛沼中央低地排水路合流点までの区間において河川水位を下げ、沿線地域の治水安全を向上させ、防災・減災効果を図るため、事業を推進しました。

- ・用地買収51,476

◆河川維持事業（7-2-3-1） 5,603（0）

【一般財源：5,603】

【事業概要】目標⑤

- ・江川補修工事880 ・江川補修工事（その2）4,723

◆都市計画一般事務費（7-3-1-1） 8,490（4,585）

【その他特財：253 一般財源：8,237】

【事業概要】目標⑤

都市計画事務を遂行するための総務的な経費を計上し、課内事務の円滑な進行を目指しました。

- ・都市計画法改正に基づく条例区域検討業務3,630

◆**建築指導事業（7-3-1-3） 561（4,211）**

【国県支出金：275 一般財源：286】

【事業概要】目標⑤

狭あい道路拡幅整備：幅員4メートル未満の町道に接する土地の所有者から後退用地を町に寄付していただき、拡幅整備を行いました。

- ・狭あい道路拡幅工事 550

◆**住宅耐震事業（7-3-1-4） 245（2,176）**

【国県支出金：149 一般財源：96】

【事業概要】目標⑤

昭和56年5月31日以前に建築・着工された木造戸建て住宅の耐震化を促進するため、木造戸建て住宅の耐震診断に係る費用の一部に対し、補助金を交付しました。また、地震による家具の転倒等の被害から住民の身体の安全を確保するため、家具転倒防止器具等の購入又は取り付け費用に対し、補助金を交付しました。

- ・木造住宅耐震診断費補助 200
- ・家具転倒防止器具購入補助金 32

◆**住宅リフォーム補助事業（7-3-1-5） 1,453（3,006）**

【国県支出金：648 一般財源：805】

【事業概要】目標⑤

町民の生活環境の向上及び町内産業の活性化・雇用の創出を目的とし、住宅のリフォーム工事又は雨水抑制施設設置に係る費用の一部に対し、補助金を交付しました。

- ・住宅リフォーム補助金 1,450

◆**空家対策事業（7-3-1-7） 4,048（5,000）**

【一般財源：4,048】

【事業概要】目標⑤

令和5年度に実施した空家等実態調査の結果を基礎資料として、空家等対策計画の見直し及び改定を行いました。また、管理が不適切な空き家等の所有者に対し、助言・指導等を行い、安全で安心な生活環境の保全を図りました。

- ・酒々井町空家等対策計画見直し業務 3,927
- ・空家等対策協議会委員報償（3回開催） 121

◆**街路整備一般事務費（7-3-2-1） 1,354（1,342）**

【一般財源：1,354】

【事業概要】目標⑤

京成酒々井駅東口に整備されているトイレの維持管理を行い、利便性の向上を図りました。

- ・京成酒々井駅東口公衆トイレ清掃業務 986

◆総合公園管理事業（7-3-3-1） 14,127（14,199）

【その他特財：2,694 一般財源：11,433】

【事業概要】目標⑤

酒々井総合公園の維持管理を目的とし、利用者が安心・安全に利用できるように施設の管理業務や環境整備を実施しました。

- ・酒々井総合公園年間管理業務 2,761
- ・酒々井総合公園日常管理業務 3,327
- ・酒々井総合公園管理事務業務 2,732

◆街区公園管理事業（7-3-3-2） 19,437（19,112）

【一般財源：19,437】

【事業概要】目標⑤

街区公園等の維持管理を目的とし、利用者が安心・安全に利用できるように施設の補修や環境整備を実施しました。

- ・街区公園除草業務委託 7,040
- ・年間管理業務 5,122
- ・公園遊具点検 946
- ・フェンス設置工事 2,783



◆区画整理一般事務費（7-3-4-1） 28（29）

【一般財源：28】

【事業概要】目標⑤

縣市街地整備推進協議会負担金を支出しました。

■上下水道課

◆下水道事業への繰出経費（7-4-1-1） 22,020（40,101）

【その他特財：22,020】

【事業概要】目標⑤

地方公営企業の経営の健全化促進・経営基盤の強化のため、毎年総務省が策定している繰出基準に基づき、一般会計から酒々井町下水道事業会計への繰り出しを行いました。

昨年度の繰り出しは以下の4項目でした。（項目番号は総務省の繰出基準に記載されている番号です。）

1. 雨水処理に要する経費（18,583）雨水処理に関する事業費・下水道事業債の元利償還金です。
3. 流域下水道の建設に要する経費（2,661）流域下水道の建設に際し要した下水道事業債の元利償還金です。
- 1 3. 下水道事業債（特別措置分）の償還に要する経費（593）H18地方財政措置の変更に伴い発行した下水道事業債に関する元利償還金です。
- 1 4. その他（183）H8緊急下水道整備特定事業実施要項及びH5農業集落排水緊急整備事業実施要項により実施された事業に係る下水道事業債の元利償還金です。

■学校教育課

◆教育委員会一般事務費 (9-1-1-2) 187 (270)

【一般財源：187】

【事業概要】目標②

教育委員会の行事等で必要な交際費です。

◆教育総務一般事務費 (学校教育課) (9-1-2-2) 85,589 (86,085)

【国県支出金：294 その他特財：210 一般財源：85,085】

【事業概要】目標②

- ・特別支援学級介助員配置事業 (酒小4人、大小3人) 9,263 小学校の特別支援学級に在籍する児童の学習活動や学校生活の支援・補助を行うため、介助員を配置しました。
- ・学習指導等専門支援員配置事業 (小2人、中3人) 5,983 特色ある教育活動を推進するための支援員を小・中学校に配置しました。
- ・学習指導等専門支援員 (理科専属) 配置事業 (小2人) 2,617 小学校5・6年生の理科の授業を中心に観察・実験活動の充実を図るため、理科専属の支援員を2校に配置しました。
- ・教育アドバイザー配置事業 (2人) 4,790 国際交流事業やALT (外国語指導助手) の活用を図るとともに、外国人等への日本語指導を行うアドバイザーを小・中学校に派遣しました。
- ・学習活動支援員配置事業 (小2人) 4,731 小・中学校へ通う肢体不自由等の理由から特別に支援を要する児童生徒個人を支援するため、介助を目的とした支援員を小学校に配置しました。
- ・部活動指導員配置事業 217 生徒の心身を鍛え、健やかな成長を促すため、中学校に部活動指導員を配置し、部活動の充実を図りました。
- ・学校保健支援教員配置事業 1,304 学校保健支援教員1名を配置し、養護教諭が校外学習等で不在の時などに、各学校へ出向き保健室の対応を行いました。また、学校集団検診等の補助、記録の入力など養護教諭を補佐しました。
- ・ICT授業支援教員配置事業 2,549 学校教育課にICT授業支援教員1名を配置し、各学校に週1日以上出向き、令和3年度から本格運用を始めた1人1台端末を活用した授業の支援を行いました。
- ・教育ファシリテーター配置事業 2,527 学校教育課に教育ファシリテーター1名を配置し、行政組織との連絡調整や地域学習等の教材開発を通じた「酒々井学(ふるさと学習)」の学習プログラムを作成・実施するとともに授業への支援を行いました。
- ・酒々井学推進事業 50 酒々井町の郷土の歴史に対して、実感をもって学習できるように、各小学校に設置した学校郷土資料館を継続的に整備し、展示内容の充実化を図りました。また、小・中学校の地域学習・地域活動への支援を行うために、行政組織等との連絡調整や地域素材を活用した「酒々井学」の学習プログラムを作成・実施し、児童生徒のふるさと意識の向上を図りました。
- ・スクールバス運行业務委託事業 16,668 酒々井小学校の遠距離通学の児童に対して、町ふれ愛タクシーをスクールバスとして委託し、馬橋、墨、伊篠、伊篠新田地区等の児童の交通手段を確保しました。なお、平成29年度からは、町ふれ愛タクシー(3台)と町所有車(1台)の合計4台で運行しています。
- ・教科用図書・指導書購入事業 8,987 小学校で使用する教科用図書が4年に1度大幅な改訂するにあ

たり、学校の教職員が使用する指導書を購入しました。また、1人1台端末等を使用した授業に対応するための指導者用デジタル教科書を配備しました。

- ・教職員の特色ある教育活動支援事業補助金 300 小・中学校の特色ある教育研究の積極的な推進を図るため、学校の教職員が提案する教育プランにおいて、児童生徒への教育効果が期待できる内容に対し補助金を交付しました。なお、本事業は令和3年度から隔年で実施しています。
- ・人権・同和教育研究補助金 200 人権・同和教育の推進を図るため、町教育委員会が指定した小学校又は中学校の研究指定校に対し、研究活動費として補助金を交付しました。
- ・保小中連携事業活動補助金 270 保育園(こども園)・小学校・中学校で相互の連携を促進し、接続の円滑化を図ることにより、生徒指導や学習指導を継続的に実施しました。小一プロブレム、中一ギャップの解消にもつながる連携活動に対して補助金を交付しました。
- ・町立小・中学校修学旅行費補助金 1,200 保護者の経済的負担の軽減を図るため、町立小・中学校が実施する修学旅行に対し、小学校は1学級当たり10万円、中学校は1学級当たり20万円の補助金を交付しました。

◆児童生徒国際交流振興事業(9-1-2-3) 23,724(24,485)

【その他特財：6,158 一般財源：17,566】

【事業概要】目標②

【外国語教育】

- ・英語専科教員(小2人) 4,498 令和2年度から開始された小学校5・6年生の教科「英語科」について児童の英語力向上のため英語専科教員を各小学校に配置し、あわせて学習指導や学習評価を実践研究しつつ、学校職員への研修も実施しました。
- ・外国語指導助手(ALT:3人) 13,177 小・中学校にALT(外国語指導助手)を1名ずつ配置し、ネイティブな英語にふれることを通して、学習意欲、異文化理解及びコミュニケーション能力を高め、児童生徒の確かな学力を育みました。さらに保育園(こども課:業者委託 週1回 3~5歳児対象)で養われた英語力を小学校で途切れることなく中学校へつなげることで一貫した外国語教育を実施しました。

【国際交流事業】

- ・派遣事業 5,568 酒々井中学校生徒をドイツへ派遣し、ホームステイや学校での体験学習を通して、英語力等のコミュニケーション能力を育成します。また、その国の文化や言語、生活習慣などを学び、異文化理解を深めました。
- ・受入れ事業 592 酒々井中学校生徒がドイツ派遣で交流のあった学校の生徒を受入れることにより英語力等のコミュニケーション能力を育成します。また、酒々井中学校での体験学習やホームステイを通して、日本の文化や言語、生活習慣などを伝えながら異文化理解を深めました。

◆ふれあい教室運営事業(9-1-2-4) 2,881(2,643)

【一般財源：2,881】

【事業概要】目標②

教育委員会に適応指導教室「ふれあいルーム」を設置し、不登校児童生徒等を対象にカウンセリングや学習指導、小集団活動等を取り入れ、集団適応と学校復帰を支援しました。

◆学校図書館推進事業（9-1-2-16） 2,222（2,166）

【一般財源：2,222】

【事業概要】目標②

各小・中学校図書館に学校司書を配置し、児童生徒の生涯にわたる読書習慣の育成と学校図書館の活用推進を図りました。また、町立図書館と学校図書館が連携し、学校図書館の機能の充実と児童生徒の図書館活用のための支援を行いました。

◆酒々井小学校教育振興事業（学校教育課）（9-2-2-1） 6,384（9,469）

【国県支出金：283 その他特財：178 一般財源：5,923】

【事業概要】目標②

- ・パワーアップE助成事業 120 英語への理解・関心をさらに高めるため、町立小学校6年生の全児童に対して、英語検定の検定料を1人年1回全額助成しました。
 - ・酒々井小学校水泳指導委託事業 3,135 酒々井小学校のプールは老朽化により令和6年度に取り壊しを工事を実施したため、施設の借用及び水泳指導（送迎を含む）を民間企業に業務委託しました。
 - ・豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 180 学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、小学校に補助金を交付しました。
- （注）CTSは、Child, Teacher, School・Societyの略。
- ・要保護・準要保護就学援助費支給事業 1,222 経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対し就学援助を行いました。

◆酒々井小学校教育振興事業（酒々井小）（9-2-2-2） 4,241（4,264）

【一般財源：4,241】

【事業概要】目標②

- ・酒々井小学校教育活動の充実 2,550 酒々井小学校の教材備品や学校図書の実況を図りました。購入する備品や図書を学校が選定します。

◆大室台小学校教育振興事業（学校教育課）（9-2-2-3） 1,942（3,457）

【国県支出金：120 その他特財：141 一般財源：1,681】

【事業概要】目標②

- ・パワーアップE助成事業 77 英語への理解・関心をさらに高めるため、町立小学校6年生の全児童に対して、英語検定の検定料を1人年1回全額助成しました。
- ・豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 180 学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、小学校に補助金を交付しました。
- ・要保護・準要保護就学援助費支給事業 677 経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対し就学援助を行いました。

◆大室台小学校教育振興事業（大室台小）（9-2-2-4） 4,080（4,129）

【一般財源：4,080】

【事業概要】目標②

- ・大室台小学校教育活動の充実 2,547 大室台小学校の教材備品や学校図書の実を図りました。購入する備品や図書を学校が選定します。

◆中学校教育振興事業（学校教育課）（9-3-2-1） 7,184（10,961）

【国県支出金：213 その他特財：178 一般財源：6,793】

【事業概要】目標②

- ・パワーアップE助成事業 677 国際交流及び国際理解教育を推進する中で、さらに英語力の向上を図るため、町立中学校3年生の全生徒に対して、英語検定の検定料を1人年1回全額助成しました。
- ・中学校部活動事業補助金 1,000 中学校の部活動の中で大会などへの参加に要する費用等を援助するため、中学校に補助金を交付しました。
- ・豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 270 学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、中学校に補助金を交付しました。
- ・要保護・準要保護就学援助費支給事業 3,292 経済的理由により、就学困難と認められる生徒の保護者に対し就学援助を行いました。

◆中学校教育振興事業（酒々井中）（9-3-2-2） 4,562（4,602）

【一般財源：4,562】

【事業概要】目標②

- ・酒々井中学校教育活動の充実 2,550 酒々井中学校の教材備品や学校図書の実を図りました。購入する備品や図書を学校が選定します。

◆給食センター管理事業（9-5-3-2） 4,395（4,920）

【一般財源：4,395】

【事業概要】目標②

学校給食センターの運営及び施設設備の維持管理を行いました。学校給食費を公費化し、保護者の利便性の向上や教職員の事務の負担軽減、会計の透明性や公平性の確保を図りました。

- ・施設設備保守点検委託料 2,764 ・給食費収納管理システム賃借料 770 ・各種検査等手数料 320

◆給食事業（9-5-3-3） 167,241（156,668）

【国県支出金：27,646 その他特財：48,763 一般財源：90,832】

【事業概要】目標②

児童・生徒の心身の発達に資することを目的に給食を提供しました。また、食事への理解、地域社会の環境や文化、栄養改善及び健康の増進、社会性や食事のマナーを身につけるための食育を行いました。さらに、建設から42年を迎える学校給食センターの老朽化対応を行ったほか、小中学校児童生徒学校給食費無償化事業等を実施し、子育て世帯を支援しました。

- ・学校給食賄材料費 89,812（地元食材購入費 6,721 含む。）

- ・第3子以降学校給食費免除制度 5,403 ・学校給食調理配膳配送業務委託料 63,624
- ・小中学校児童生徒学校給食費無償化事業（4・5月分）10,228

■生涯学習課

◆社会教育一般事務費（9-4-1-1） 3,494（3,800）

【国県支出金：799 一般財源：2,695】

【事業概要】目標②

- ・成人の祝い（20歳）は式典・二十歳の方主催による「二十歳のつどい」を開催しました。
- ・家庭教育は家庭教育の充実を図るため、家庭教育指導員による家庭教育相談や小学校就学前の保護者、小・中学校の保護者を対象にそれぞれの家庭教育学級を開設しました（ローズマリー学級・酒々井小学校家庭教育学級・大室台小学校家庭教育学級・酒々井中学校家庭教育学級）。
- ・全ての保護者が安心して子育てを行える体制を構築するため、教育委員会と福祉部局が連携して、家庭教育支援チームを運営しました。子育て支援センターと生涯学習課が連携した合同講座の実施や家庭教育学級・地域未来塾・人権教育セミナーの合同講座の実施など、保護者の学びの機会の充実に努めました。
- ・人権教育：人権教育を推進するため、人権教育セミナーを開催して人権意識尊重の精神の涵養に努めました。人権教育セミナー（年間6回開催）

◆学校教育支援促進事業（9-4-1-2） 1,672（2,626）

【国県支出金：1,054 一般財源：618】

【事業概要】目標②

- ・地域学校協働本部：町立各小・中学校に学校と地域ボランティアの調整役であるコーディネーターを配置するとともに、地域ボランティアとコーディネーターの活動拠点である地域ルームを設置し、学校と地域の協働により、教育活動の充実に努めました。
- ・地域未来塾：中学生に対して元教員などの地域住民の協力を得て学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るため、学習支援を行いました（年29回）。家庭教育学級や人権教育セミナーと合同で情報モラルの特別授業の機会を設け、学びの機会の充実に努めました。
- ・学校関係者、地域関係者、保護者が当事者意識を持って学校の教育活動に関わり、学校を拠点にした子ども中心の教育を推進するため、学校運営協議会の導入を検討しました。

◆土曜日の教育支援体制等構築事業（9-4-1-3） 1,518（1,768）

【国県支出金：264 一般財源：1,254】

【事業概要】目標②

- ・こども青樹堂（3・4年生、5・6年生） 子どもたちの豊かな人間形成を育むことと確かな学力の定着を目的として、休業日である土曜日に子どもたちが進んで学習や活動に取り組む場を開設しました。酒々井小学校・大室台小学校児童を対象とした補習と講座を年間15回実施しました。保護者でも教員でもない大人と関わる機会の中で、参加した子どもたちのコミュニケーション能力の獲得や学習意欲の向上などにつながりました。



◆文化財保護一般事務費（9-4-2-1） 2,447（2,314）

【国県支出金：39 その他特財：591 一般財源：1,817】

【事業概要】目標②

文化財保護法に基づき、町内の所々に所在する埋蔵文化財等の管理・調査・保存及び町内指定文化財等に係る調査・保護・整備等について随時行いました。また町指定天然記念物である飯積の大杉の枯れ枝撤去作業への助成を行いました（660）。

◆文化財施設管理事業（9-4-2-12） 756（791）

【一般財源：756】

【事業概要】目標②

文化財の保護・利活用の一環として、文化財の保護・管理・普及に係る施設・設備について整備・管理・運用・修繕を行いました。

◆本佐倉城跡保存整備事業（9-4-2-13） 9,225（9,173）

【一般財源：9,225】

【事業概要】目標②

国指定史跡本佐倉城跡の保存・活用のための史跡整備事業を行いました。令和6年度は城山郭等の危険木・障害木の一部伐採を継続して行いました（999）。周知・普及事業としては、案内所の運営を順調に継続して行い、来場者として11,161人が訪れました。併せて案内所等で配布するパンフレットの増刷や佐倉市と共催で城跡見学会（一般72名参加）を行うほか、案内所等での企画展・クイズラリーの開催や継続して本庁舎入口における調査概要展示、公民館での町の通史展示を行いました。また町制施行135周年を記念し、入口広場に記念碑（歌碑）の建立を実施しました（759）。

◆墨古沢遺跡保存整備事業（9-4-2-14） 27,244（75,553）

【地方債：19,600 一般財源：7,644】

【事業概要】目標②

令和元年10月に日本最大級の旧石器時代の「環状ブロック群」として国指定史跡となった墨古沢遺跡について、今後の保存・整備・利活用に向けた保存整備事業を進めました。令和6年度は、これまでに策定が行われた『保存活用計画』『整備基本計画』を基に史跡の活用を推進するため、史跡隣接地の公有地化を継続して行いました（26,200・酒々井PA用地については、ネクスコ東日本との協議の結果R7年度へ継続）。また史跡の整備・活用の方法を検討するため、有識者による整備活用委員会を2回開催しました。

周知・普及事業としては、史跡の整備・活用を考えていくため、国史跡指定5周年記念講演会を実施し、一般175名の参加がありました。また千葉工業大学と連携したテント状住居構築体験のワークショップを開催するほか、引き続きコミュニティプラザでの展示会を継続して実施しました。

◆公民館管理事業（9-4-3-1） 17,128（16,786）

【その他特財：1,268 一般財源：15,860】

【事業概要】目標②

中央公民館の維持・運営をするための経常的経費です。

- ・光熱水費 3,168（電気・ガス・水道）
- ・設備の保守管理委託等 6,625（清掃・消防・冷暖房・エレベーター・自動ドア・警備等）
- ・窓口職員報酬・共済費 5,866
- ・工事請負費 165（消火栓ホース交換工事）
- ・備品購入費 83（町旗購入）
- ・その他 1,221（電話代・修繕料・コピー代・消耗品代等）

◆公民館活動事業（9-4-3-2） 6,833（7,475）

【その他特財：34 一般財源：6,799】

【事業概要】目標②

酒々井町町民大学青樹堂（公民館主催事業）を中心として、各種講座を開催しました。

参加者募集については広報ニューすいや町公式LINE等でご案内しました。

【酒々井町青樹堂】

- ・町民大学青樹堂（2年制） ・町民大学院青樹堂（1年制）
- ・一般講座（初心者向けパソコン教室） ・町民文化祭、公開講座など

◆青少年健全育成事業（9-4-4-1） 1,935（2,943）

【国県支出金：65 一般財源：1,870】

【事業概要】目標②

青少年健全育成を図るため、青少年相談員事業として各種事業を子ども会育成会連絡協議会と共催で開催しました。

- ・子ども会対象事業は体験教室（バウムクーヘンづくり）・バス視察を行いました。
- ・青少年相談員事業は防犯パトロール・釣り大会・伝統文化教室（たこ作り教室・たこあげ大会）・星空の映画会（子ども会と共催）・オールナイトハイク・星空の観察会を行いました。
- ・教員でも保護者でもない大人と関わる機会の中で、子どもたちの「生きる力」の育成につながりました。

◆青少年交流事業（9-4-4-2） 2,068（2,365）

【その他特財：800 一般財源：1,268】

【事業概要】目標②

北海道陸別町児童交流事業：日本有数の星空などの観光資源や美しい自然環境の中での体験学習を北海道陸別町で実施し、また陸別町児童との交流を図りました。町内の小学校に通う16名が参加しました。

◆同和対策集会所事業 (9-4-5-1) 634 (834)

【一般財源：634】

【事業概要】目標②

- ・学力向上学級やふれあい生け花教室を実施し、地域の小中学生の成長や地域の方の心の潤いや支え合える仲間づくり等に寄与しました。
- ・地域のつながりやより良い人間関係をつくることに寄与する拠点として集会所を活用しました。

◆プリミエール管理事業 (9-4-6-1) 70,269 (24,087)

【地方債：42,100 その他特財：4,440 一般財源：23,729】

【事業概要】目標②

プリミエール酒々井を快適かつ安全に利用できるよう、維持・管理運営・修繕を行います。

- ・光熱水費 12,771 (13,828) 電気・ガス・上下水道料金
- ・施設維持管理費 9,262 (9,182) 保守・点検等を行いました。
- ・修繕料 1,398 (1,077) 消防設備用蓄電池交換等、施設の修繕を行いました。
- ・工事請負費 46,838 空調熱源設備更新工事を行いました。

◆プリミエール運営事業 (9-4-6-3) 22,281 (22,041)

【その他特財：18 一般財源：22,263】

【事業概要】目標②

プリミエール酒々井は、文化芸術をはじめとする生涯学習の向上及び推進を図るための文化ホールと図書館を併設した文化施設であり、町民の生涯学習の場、交流の場としての情報発信施設となるように運営しています。

- ・会計年度任用職員報酬・共済費 10,176 (9,752) 司書助手 5 名、文化ホール機器操作員 2 名
- ・図書館資料等購入費 5,623 (5,618) 図書、電子書籍コンテンツ、雑誌等の充実を図りました。
- ・図書館情報システム賃借料 3,623 (3,624) 図書館情報システムにより、利用者の利便性向上及び情報提供に努めました。
- ・自主事業費 581 (708) 図書館講演会、オータムコンサート、しすいリッチハートコンサート、しすい音色の輪コンサートを開催しました。

◆保健体育活動事業 (9-5-1-1) 6,828 (7,136)

【一般財源：6,828】

【事業概要】目標②

生涯スポーツを推進するため、各種スポーツ教室・大会や、軽スポーツの体験の場を提供しました。

1 各種大会

大会名	回数	実施時期
野球大会	年2回	4月・9月
卓球大会	年2回	5月・11月
ウォークラリー大会	年1回	5月
印旛郡市民スポーツ大会	年1回	7月
ソフトテニス大会	年1回	8月
ソフトボール大会	年1回	9月
町長杯少年野球大会	年1回	9月
町スポーツ・レクリエーション祭	年1回	10月
テニス大会	年1回	10月
バドミントン大会	年1回	10月
ゴルフ大会	年1回	11月
印旛駅伝競走大会	年1回	12月
町駅伝競走大会	年1回	1月
町長杯少年サッカー大会	年1回	3月

2 各種教室

教室名	実施時期(予定)	対象者
剣道教室	通年	小学生以上
柔道教室	通年	小学生以上
空手道教室	通年	小学生以上
サッカー教室	通年	小学生以上
テニス教室	5月・9月	20歳以上
カヌー教室	6月	小学4～6年
水泳教室	7月	小学生
ライトスポーツクラブ	通年	小学生以上
順天堂大学公開講座(親子スポーツ教室)	10月	小学生親子
「おとな」もスポーツテスト	11月	成人・高齢者
陸上競技教室	3月	小中学生

◆体育施設管理事業 (9-5-2-1) 36,363 (50,152)

【地方債：32,200 その他特財：3,610 一般財源：553】

【事業概要】目標②

体育施設の維持・運営をするための経費です。また、老朽化した町体育館の解体工事を実施しました。

- ・町体育館解体工事 33,480
- ・町体育館解体工事施工監理業務委託 1,643
- ・解体工事に伴う家屋調査業務委託 688

■国民健康保険特別会計 1,966,760 (2,075,846) 【健康福祉課】

【国県支出金：1,402,505 一般財源：109,889 保険税：348,440 基金繰入金：105,926】

【事業概要】

1 保険給付等 (1,380,717)

相互扶助の精神に基づき、加入者が保険税を公平に拠出することにより、病気、けが、出産及び死亡による経済的な負担を補うための保険給付などを行いました。

2 保健事業 (26,487)

被保険者の健康増進並びに医療費の適正化を図るため、糖尿病などの生活習慣病の発病や重症化を予防し、メタボリックシンドロームの該当者などを減少させるため、特定健康診査及び特定保健指導を実施するとともに、病気の早期発見と早期治療に役立てるため、人間ドック費用の一部を助成しました。

・特定健康診査・特定保健指導 12,488

・人間ドック費用の助成等 13,999

3 国民健康保険事業費納付金 540,420

国民健康保険制度の広域化により平成30年から運営主体となった県に対し、各市町村の医療費水準や所得水準などを基に決定された国民健康保険事業費納付金を納付しました。



■介護保険特別会計 1,649,158 (1,602,877)【健康福祉課】

【国県支出金：550,463 一般財源：233,815 保険料：833,417 基金繰入金：0 その他：31,463】

【事業概要】

※要介護認定事業 (14,705千円)

要支援・要介護認定申請者に対して、訪問調査及び介護認定審査会で要介護度判定を行いました。

*審査会 24回

*認定件数 延べ 889件

*認定状況

・非該当	13件	・要介護1	196件
・要支援1	95件	・要介護2	137件
・要支援2	121件	・要介護3	101件
		・要介護4	136件
		・要介護5	90件

*基本チェックリストによる判定 21人

※介護サービス等給付事業 (1,473,581千円)

要支援・要介護認定者 1,013人(令和7年3月末現在)に対し、保険給付を行いました。

*施設サービス 538,258千円 *高額介護(予防)サービス 34,186千円

*居宅サービス 868,696千円 *特定入所者介護(予防)サービス 26,426千円

*審査支払手数料 1,224千円 *高額医療合算介護(予防)サービス 4,791千円

※介護予防事業 (926千円)



- ・一般介護予防教室等（548千円）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら教室を開催しました。

開催教室：10講座 実施回数：26回 参加人数（延べ）：279人

出前健康講座 5回開催 参加人数（延べ）47人

- ・介護ボランティア事業（378千円）

65歳以上の方が介護保険施設でのボランティア活動を通じて地域貢献することで、高齢者自身の介護予防の推進を図りました。

登録者数：34人

※地域包括支援センター運営事業（28,683千円）



地域包括支援センターを設置し、高齢者の心身の健康の維持、保健・福祉・医療等の向上、生活の安定等のため、相談事業等の必要な支援を行いました。

*総合相談業務	1,508件
*権利擁護業務	37件
*ケアマネジメント支援業務	93件
*基本チェックリスト該当者支援	18件

■後期高齢者医療特別会計 445,222（418,983）【健康福祉課】

【一般財源：38,105 その他：407,117（内保険料353,748）】

【事業概要】

75歳（一定の障害のある方は65歳）以上を対象とした後期高齢者医療制度について、千葉県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、窓口業務を適切に行いました。

千葉県後期高齢者医療広域連合は、県内の54市町村が共同で組織する団体で、被保険者の認定、保険料の決定、医療の給付など制度の運営全般を行います。市町村は、保険料の徴収や各種申請・届出の受付、保険証の発行又は交付などの窓口業務を行いました。

